

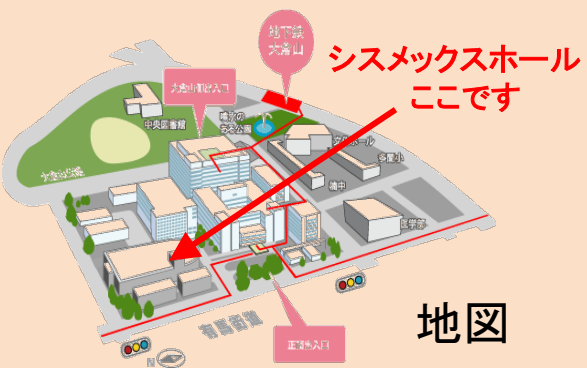


第9回 放射線療法に関する多職種連携の会 (K-Grapeの会) シンポジウム 「患者さんの皮膚マーク ー必要！でもストレス原因？ー」

日時:平成25年12月5日(木) 18時00分～19時30分
場所:神戸大学医学部附属病院 シスメックスホール

~~~~~  
患者さんの皮膚マークは外部放射線治療に欠かせないものですが、患者さん自身や病院スタッフが皮膚マークを消さないように常に注意を払っていることから、“厄介者”ともいえます。今回はシンポジウムを通し、**皮膚マークの意義を再確認**するとともに、患者さんにより優しい、それぞれの**患者さんにあった皮膚マークの方法**を探ってみたいと思います。  
~~~~~

1. 外部放射線治療と皮膚マーク～方法・考え方～ 青山裕一
(神戸大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 副診療放射線技師長)
2. 高精度放射線治療での皮膚マークの意義
～神大病院と神戸低侵襲がん医療センターの対比より～ 岡山貴宣
(神戸低侵襲がん医療センター 医療技術部 部長)
3. マーク・レス放射線治療 ～イメージガイド放射線治療の恩恵と成果～ 辰己大作
(都島放射線科クリニック 技師長)



参加費： 無料 申込方法：氏名・所属・連絡先・メールアドレスをご記入の上
「第9回放射線療法に関する多職種連携の会」参加希望と明記してメールで
お申し込みください。 E-mail : soukikak-cancer@med.kobe-u.ac.jp
当日参加も可能ですが、準備の都合上、できるだけ事前の申し込みをお願いいたします。
申込期日：平成25年11月29日(金)まで
お問い合わせ先：神戸大学医学部附属病院 がん相談室 藤原・伊藤
電話番号：078-382-5830 (直通)